



京都市立 久美浜高等学校



2年生 WYSH 教育(性教育)

WYSH とは

W ell-being
Y outh in
S ocial
H appiness

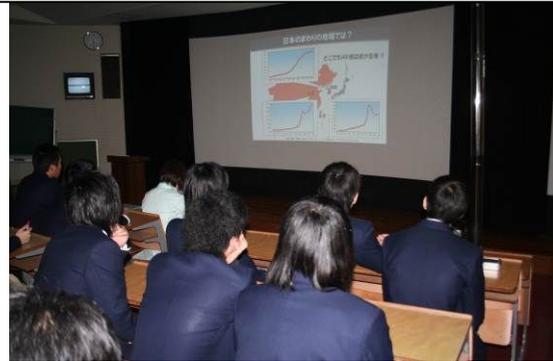
WYSH 教育の特徴

- 単に知識や技術を伝えるのではなく、子ども達の夢や希望など高い価値と結びつける教育。
- 教える側も子ども達と夢や希望を育み、心を一つにできる教育である。
- 子ども達を支える人間的ネットワークの回復を目指すこと。

目標

- ① エイズを含む性感染症について正しい知識を習得させる。
- ② 望まない妊娠や性感染症の予防方法についてグループワークをさせる。
- ③ 今の自分が未来の自分に繋がることを意識させ、人間関係をゆっくり育むことの大切さを考えさせる。

パワーポイントや視聴覚教材でエイズ（HIV）を含む性感染症や10代の人工妊娠中絶の現状をより身近に学習しました。サハラ以南のアフリカより、私達が住む東アジアで爆発的にエイズが流行していることを知りました。



その後、各グループに分かれ、どうすれば性感染症にかからないか、グループワークを行いました。修学旅行の班で相談をしたので、お互いの意見を出しやすかったです。



自分の将来について考えるグループワークでは、まず教員の理想の結婚年齢、理想の結婚相手、理想の家庭、理想を叶えるために今自分ができていることを興味深く聞きました。



今度は、自分たちの番です。
理想を思い描き、そしてその理由をグループで交流しました。
普段、理想の結婚相手を考えたことのない男子はいろいろ悩んでいました。



各グループで話し合った内容を、みんなの前で発表。男女の意見の違いなどを知ることができました。

◆理想の結婚年齢

(男子の意見とその理由)

- ・ 25才：大卒後3年働いてから結婚したい。
- ・ 18才：子どもにとって若い親がいい。
- ・ 31才：家庭のことを考える余裕が持てる。

(女子の意見とその理由)

- ・ 24才：早めに結婚して若いお母さんになる。
- ・ 30才：仕事に就いて慣れておきたい。
- ・ いつでも：相手が見つかりしだい。

◆理想の結婚相手

(男子の意見とその理由)

- ・ 思いやりがある：お互いを理解し合える。大切にできる。
- ・ 料理ができる：料理が下手な人は無理。家事が面倒なのでやってもらいたい。
- ・ 子どもが好きな人：自分も子どもが好きだから

(女子の意見とその理由)

- ・ 優しい人：性格が大事だから
- ・ 頼りになる人：自分が頼りないから引っぱってほしい。
- ・ 家の手伝いをしてくれる人：家事をいろいろ手伝ってほしい。

◆理想の家庭

- ・ 一人一人が元気な家庭
- ・ 明るくてにぎやかな家庭
- ・ ペットのいる家庭
- ・ 経済的に安定した家庭
- ・ 安心できる家庭
- ・ 何が起きても解決できる家庭

◆理想の家庭を得るために今、自分ができることとその理由

- ・ コミュニケーション力アップ：コミュニケーション力が全くないので会話力をつける。
- ・ 勉強：学校でできる精一杯のことだから。勉強しないとほじまらない。
- ・ 卒業：しっかりとした仕事に就くために卒業する。
- ・ 嫁入り修行：掃除、洗濯、料理を頑張る。

◆WYSH 教育の感想

- ・ 今回の性教育はとても勉強になった。やっぱり相手の気持ちがあってこそだと思った。
- ・ 将来につながるよい勉強だった。みんなの意見がきけて良かった。
- ・ 何才になっても自分も大切に、相手も大切にしないとイケないと思った。自分を大切にできることは相手のことも大切にできると思う。将来、いい人に会って、幸せな家庭を築きたい。